

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2007～2010

課題番号：19251011

研究課題名（和文）先住民をめぐる異化と同化の力学に関する人類学的研究

研究課題名（英文）Anthropological research into alerity and assimilation of Indigenous peoples

研究代表者

スチュアート ヘンリ[本多俊和] (HONDA SYUNWA)

放送大学・教養学部・教授

研究者番号：50187788

研究代表者の専門分野：文化人類学

科研費の分科・細目：文化人類学・文化人類学・民俗学

キーワード：①先住民族 ②異化 ③同化 ④植民地主義 ⑤国民国家

1. 研究計画の概要

本研究では、国民国家と先住民族の関係について、国家の主流社会に対する先住民族社会の広い意味での同化（主流社会の経済や文化への先住民諸社会の埋没や統合）と、広い意味での異化（主流社会に対して、また先住諸民族同士による社会と文化の独自性の主張）の歴史と現状を焦点に調査し研究する。その目的は、先住民族の社会・文化の多様性を維持しつつ、国家や国際社会としてのコンセンサス（意志決定にかかわる多様な社会集団の合意）を形成し維持してゆくための理論と方法について考察することである。

現在、先住民族をはじめ、様々な社会集団の社会・文化の多様性を維持することの重要性が広く認められている。しかし、その一方で、国家や国際社会の意志決定の具体的な場においては、その多様性を維持しつつも、多様な社会集団の間にコンセンサスをいかに形成するかということが問題となっている。多文化主義を掲げる国家の意思決定の場はもちろんのこと、クジラをはじめとする絶滅危惧種の保護や環境管理、環境開発などの意志決定の場では、具体的な意志決定のためにコンセンサスを形成することは避けて通れない課題である。多様性の中のコンセンサスを実現するにはどうすればよいのかという課題は、国際社会や国家のレベルから、地域開発や地域的な環境管理の現場などにおける地域のレベルにいたるまで、あらゆるレベルにおいて共通課題として追い求められている課題である。

2. 研究の進捗状況

本研究では、国家の中の先住民族と主流社会の関係の中でも、多様性の中でのコンセンサスという課題がもっとも顕著なかたちで現れているカナダのメイティおよびヌナブト準州のイヌイト、アラスカ州のイヌピアトが行なっている捕鯨活動、メキシコ政府の施策が先住民へ及ぼす影響、中国の少数民族政策、聖地の観光と開発をめぐる先住民族と国家の関係が緊迫しているオーストラリア、気候変動の影響による資源開発問題で揺れているグリーンランド、カナダ・オーストラリア・ニュージーランド、米国（CANZUS）の先住民政策とは異なる北欧3カ国のサミーを対象に実地調査、そして北米先住民が自ら行なう文筆活動の文献調査を行なう。以上の諸地域や課題は、それぞれ歴史的背景、現在の状況は異なるものの、先住民族の異化と同化をめぐる課題が今現在、それぞれの地域の政治・経済・社会的な力学の中で、急速な展開をみている地域である。

この研究では、こうした地域の先住民族をめぐる異化と同化のせめぎ合いについて調査研究を行なっている。こうした先住民族と国家の関係をめぐる同化と異化の力学に焦点をあて、その歴史と現状を調査研究することによって、多様性の中のコンセンサスを形成するという課題についての理論構築に貢献しつつ、具体的な方策を模索しているところである。

以上の地域における実地調査は順調に進み、最終（2010）年度の仕上げへの作業には支障はない状況である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
(理由)

当初の計画の達成度がほぼ期待通りであり、各地域における資料集がはかどり、考察を踏まえた理論構築を勧めている最中であるので、研究目的を全とうできる見通しである。

4. 今後の研究の推進方策
現地および文献調査続行

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

落合一泰、「現代アメリカ先住民文学と移動」『名古屋外国語大学現代国際学部紀要』6:、pp. 227-245、2010、査読なし

落合一泰、武田優子、「夢の紫煙、紫煙の夢—20世紀メキシコのカレンダーアートにおけるタバコ広告—」『平成20年度助成研究報告』(財団法人タバコ総合研究センター(TASC))、pp. 33-52、2009、査読なし

岸上伸啓「文化の安全保障の視点から見た先住民生存捕鯨に関する予備的考察—アメリカ合衆国アラスカ北西地域の事例から」『国立民族学博物館研究報告』v.33巻4号、pp. 493-550、2009、査読あり

スチュアート ヘンリ「極北の民族イヌイトにみる経済開発と文化再生」『立教アメリカン・スタディーズ』30:立教大学アメリカ研究所、pp. 21-36、2008、査読あり

窪田 幸子「<オーストラリアの長い沈黙>ののち—歴史とアボリジニのエージェンシー」『文化人類学』73巻3号、pp. 400-418、2008、査読あり

大村敬一「労働:<生業>と<生産>がせめぎあう場」『民博通信』123:pp. 10-11、2008、査読あり

[学会発表] (計5件)

スチュアート ヘンリ、「アイヌ文化と博物館」第57回全国博物館大会、2009年10月1日、旭川市博物館

落合一泰、武田優子、「夢の紫煙、紫煙の夢—20世紀メキシコのカレンダーアートにおけるタバコ広告—」(財)たばこ総合研究センター(TASC)平成20年度分助成研究報告会、2009年7月23日、虎ノ門パストラルホテル

謝 黎「中国の博物館における少数民族展示」北方民族シンポジウム、2008年12月18日、道立北方民族博物館、網走

スチュアート ヘンリ「政治のフォーラムとしての博物館」日本文化人類学会、2008年06月01日、京都大学

大村敬一「イヌイトは何になるようとしているのか?:カナダ・ヌナヴト準州のIQ問題にみる先住民の未来」日本文化人類学会、2008年06月01日、京都大学

[図書] (計5件)

スチュアート ヘンリ、「エスキモー」『ブリタニカ国際大百科事典』、2巻(オンライン)、27ページ相当、TBSブリタニカ、2009、査読:無

大村敬一、「イヌイトは何になるようとしているのか?:カナダ・ヌナヴト準州のIQ問題にみる先住民の未来」『先住民とは誰か?』(窪田幸子編)世界思想社、2009、pp. 155-178、査読:無

窪田幸子、野林厚志編『「先住民」とは誰か?』世界思想社、2009、pp. 16-37

岸上伸啓、編著『開発と先住民』明石書店、2009、360頁

謝 黎「中国の博物館における少数民族展示」中国の博物館における少数民族展示『第23回北方民族文化シンポジウム報告』、北方民族博物館、2009:pp. 7-12、査読:無

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況 (計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]